

平成15年4月から2次4年に亘ったアクションプログラムは平成19年3月に終了しましたが、当金庫は地域に根ざした協同組織金融機関として自主的かつ積極的に地域密着型金融の取組みを継続・実践しております。

平成20年度は米国発のサブプライムローン問題以降、“リーマンショック”を経て世界中の株価が軒並み下落し世界経済の混迷は依然として続いています。当金庫の営業基盤である京都経済も例外ではなく景気の先行きは不透明感を増し、取引先企業を取り巻く環境はいつそう厳しさを増しております。

このような社会環境・経営環境の変化により複雑化した経済状況下で、当金庫はセーフティネット保証を活用した経営支援、中信ビジネスフェアにおける異業種交流、学生コンテストによる産学公連携を活用したビジネスマッチングなど、お客様のニーズに応じた取組みを展開してきました。

当金庫は、「地域社会の発展に寄与」することを経営理念とし、創立以来、地域社会との共存によって地域貢献のノウハウを積み上げてきました。

今年度も引き続き地域密着型金融の推進に努力し以下の項目に重点を置き地域の再生・活性化に、より一層貢献してまいります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 事業再生

中小企業再生支援協議会の活用

- ・中小企業再生支援協議会を積極的に活用した取引先企業の早期再生の支援

外部専門家と連携した取組み

- ・外部コンサルタントを活用した取引先企業の早期再生の支援

各種ファンドの活用、企業再生スキームの活用

- ・事業再生ファンドや整理回収機構の企業再生スキーム等の再生手法を活用した事業再生の支援

信用保証協会と連携しながら行政による中小企業再生支援融資制度を活用し、事業再生を目指す企業を資金面から積極的に支援

(2) 創業・新事業支援

産学公の連携強化

- ・「中信ビジネスフェア2009」での中信学生デザインコンテストの実施、産学公連携コーナーの設置

再チャレンジ信用保証制度の活用

- ・事業可能性を見極め、中小企業再生支援協議会等専門家機関との連携を行いながら「再挑戦支援保証制度」の取扱いを検討

国、地公体との連携による中小企業施策の活用など

- ・近畿経済産業局・京都府・京都市やその他中小企業支援団体の中小企業支援策と積極的に連携（京都ものづくり企業縁むすびプロジェクト、企業価値創出支援制度、京都中小企業応援条例の活用など）

(3) 経営改善支援

外部専門家と連携した取組み

- ・外部専門家と連携し、取引先企業のライフサイクルに応じた経営支援の強化

コンサルタント能力・態勢の強化など

- ・審査部事業支援課スタッフが営業店と連携し、経営改善支援先への助言・指導を継続して実施

- ・職員の経営改善指導に係る知識取得と実践力向上が図れる研修を継続的に実施

- ・中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新制度の活用

- ・京都府の“智恵の経営報告書”の活用

- ・「中小企業診断士」有資格職員による経営相談コーナーを設置

(4) 事業承継

公益法人等との連携

- ・地域力連携拠点と連携し、中小企業の事業継承問題に取り組む

2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 目利き機能の向上をはじめ事業価値を見極める融資

目利き能力の向上

- ・企業の定量情報や定性情報の分析力を高めるとともに、職員に経営改善指導や目利き能力向上のため関連する外部セミナーへ本部職員を積極的に派遣
- ・取引先企業への助言およびコンサルティング営業の強化を図るため中小企業診断士の養成に取り組む

(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

保証協会との連携

- ・『全国緊急』融資制度を活用した、中小零細企業に対する金融の円滑化、並びに資金調達余力確保の為に、当金庫の全取引先への訪問活動を実施し地域経済の安定化を推進
- ・「流動資産担保融資保証制度（ABL保証）」の活用

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の面的再生

ビジネスマッチングを活用した支援

- ・ビジネスフェアでの出展会員企業の情報発信とビジネスマッチングの場を提供
- ・販路開拓の希望を持つ取引先をネット市場へ紹介するなど、ビジネスマッチング業務提携を活用した支援を展開
- ・地域経済全体を展望したビジョン策定への支援
- ・地域の活性化に係る取組みについての支援及び連携

(2) 地域の活性化につながる多様なサービスの提供

地域経済への多様な情報提供

- ・経済講演会を開催し地域の企業経営者を中心に国際化・情報化時代に対応した役立つ情報をタイムリーに提供

- ・地元企業への聞き取りにより実態的な景気動向を調査・分析した上で、企業へ還元することによって経営上の問題点、事業へのヒントなどを提供

地域を担う若い世代や高齢者への金融知識の普及

- ・「京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク」への模擬店舗を継続設置

- ・小中学生に対し、お金の大切さや金融のしくみなど金融知識の普及を図るため、当金庫職員による出前講座「金融にかかわる話」の講演を継続的に実施

- ・京都の大学生を中心としたインターンシップを受け入れ、信用金庫業務の正しい理解を図る

- ・「社会保険労務士」有資格職員、年金スタッフによる年金相談会を実施